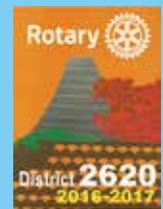




第2620地区 地区研修・協議会

2016-'17

RI会長 ジョン・ジャーム ガバナー 生子哲男
会長 山口和拡 幹事 古藤田博澄
会報委員会 大川 公 浜村真由美 石井 政一



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2487回例会

2017.4.4(火)19:00 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境中央町ビル2F
TEL(055)976-6351 FAX(055)976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈185-1
TEL(055)947-3100 FAX(055)947-0564
URL www.izuchuo-rc.org

SAA：(司会) 雨宮演邦 SL：水谷隆一

斉唱「君が代」「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 山口和拡

こんばんは。3月25日(土)26日(日)の相模原西RCとの交流会に出席された皆様ありがとうございました。親睦委員会の皆様にはお世話になりっぱなしで、ありがとうございました。伊豆総合高の太鼓には、皆様感動されていました。



いつまでも、寒い日が続き桜の満開もまだの様ですが、3月26日(日)は、大相撲の新横綱稀勢の里の怪我を乗り越えての感動的優勝の話題で盛り上がりました。ところが、翌27日(月)には栃木県那須で余りにも悲しい雪崩事故がおきてしまいました。未来ある青年たちの夢は突然断たれてしまいました。ご家族の心労は察するに余りあります。ご冥福をお祈り申し上げます。いつも思うのですが、この世に生を頂く事自体も奇跡ですが、混沌としたこの時代に、こうして生かさせていただいている事に感謝の言葉しかありません。怪我の多い私ですが、いつまでも若くない事が良く分かりましたので、これからは慌てずゆっくり物事に対処して行きたいと思っています。結構、朝型人間でして、早暁の朝焼けを見ながら美味しい空気を胸いっぱい吸い込む瞬間は贅沢の極みであります。

さて、31日(金)には、現会長・幹事会が三島市呉竹にて次期会長・幹事も交えて開かれました。地区の分区制を見直し、グループ制に再編する問題について意見交換しました。先日、相模原西RCの幹事さんに聞きましたら、2780地区では以前からグループ割りだそうです。第二分区の内、駿東地区3クラブを沼津・富士・富士宮の第三分区に合併して400名余の規模にし、残りの私達4クラブと伊豆の第一分区を合わせて300名弱のグループにする構想です。会員15名の裾野さんは、こちらに残りたい意向でした。

次に、4月1日(土)には、プトリさんと土田・原田両新入会員との歓送迎会が予定されました。と言うのも、

炉辺会合との位置付けで開催したわけですが、欠席が多くなってしまい、いつか又、例会形式で機会を作れたらと考えます。若手3人のこれからの活躍に期待します。

翌2日(日)には、2620地区の次年度方針を確認する地区研修協議会が、焼津文化会館で開催されました。

又、財団プロジェクトの内容の締め切りが迫っています。大至急決めなければなりません。皆様のご希望ご意見をお願いします。

ポール・ハリス・フェロー認証(3名)



儘田和義・山口和拡・古藤田博澄君にポール・ハリス・フェローを称える認証が授与されました。

ゲストビジター

・窪田 明 さん (三島西RC)

出席報告

委員長 儘田和義

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	17/25名	68.00%	23/25名	92.00%
今回	18/24名	75.00%	会員総数	26名

今回の欠席者：木内、紀平、玉置、土屋(雄)、浜村、原田

前々回のMU者：紀 平 (3月16日 三島西RC)
儘 田 (3月24日 せせらぎ三島RC)
水 谷 (3月25日 米山運営委員会)
原 田・古藤田・石 井
(4月 2 日 地区協議会)

RI会長テーマ「ROTARY SERVING HUMANITY・人類に奉仕するロータリー」

委員会報告

IM実行委員長 飯田鍵吾

- ・IM開催日、30年2月17日(土)東レ総合研究センターにて実施確定。
- ・本日、委員会組織原案を理事会に提出、次回発表致します。御理解御協力をお願い致します。

インターアクト副委員長 水谷隆一

- ・新年度インターアクト定例会が4月20日(木)16時から行われます。ご都合のつく皆様は御参加よろしくお願ひ致します。

米山委員長 竹村淳一郎

- ・米山春季例祭が4月22日(土)開催されます。14:00開会です。皆様の参加御願ひ致します。
- ・米山梅吉記念館 館報が届きました。目を通して下さい。
- ・ロータリーの友に「米山梅吉この一冊」コラムに

「常識関門」の説明がされてあります。梅吉翁について知る上で大事な一冊でしょう。

幹事報告

幹事 古藤田博澄

《例会場および例会時間の変更》なし

- ・卓話予定
- 4/25 外部卓話 (FMイズ)
- 5/2 会員卓話 (浜村会員)

慶事発表

- ・雨宮 演 邦 4月6日 入会記念日
- ・土屋 龍太郎 4月7日 入会記念日
- ・雨宮 演 邦 4月5日 結婚記念日

スマイル報告

委員長 小島昭男

慶事スマイル (本日のスマイル合計9,000円)

地区研修・協議会報告

会長エレクト

長友範充

4月2日、次年度のための地区研修協議会が焼津文化会館で開催されました。当クラブからは新会員の土田会員、原田会員を含めて8名で参加してまいりました。参加された皆様、朝早くからお疲れ様でした。



次年度の地区方針は10項目。

1. ロータリークラブセントラルの100%活用
2. 会員増強目標の達成
3. ロータリー公共イメージの向上とENDPOLIOへの支援
4. ロータリー財団の補助金活用と寄付の推進
5. ロータリー米山記念奨学会への理解と支援
6. 地区の各委員会事業への理解と参加
7. RI会長賞への挑戦
8. 分区再編の準備
9. 地区大会への参加
10. 国際大会への参加

この10項目の中で、

1. ロータリークラブセントラルの100%活用
2. 会員増強目標の達成
3. ロータリー公共イメージの向上とENDPOLIOへの支援

この3つが次年度の重点目標となっています

1. ロータリークラブセントラルの100%活用
次年度は100%活用が義務づけられました。
100%を達成する方法としては、各ガバナー補佐

が担当のクラブのセントラルをチェックして入力されていないければ、これを指導する。

2. 会員増強目標の達成

地区としては数値目標は立てない。
あくまで増強はクラブの課題なので、各クラブで必ず数値目標をたて、それに向かって、非常に大きな危機感を持って増強してほしい。また、重要なことは増強に際して旧態依然とした増強でなく、新しい考え方、発想の転換をもって増強に当たる。

3. ロータリー公共イメージの向上とENDPOLIOへの支援

今まで広報ITとか公共イメージとか年によって名前がいろいろで統一されていなかったが、これを次年度は公共イメージ向上委員会に統一するという事。

エンドポリオはRIが行って来た事業のなかでも、非常にわかりやすくそして成功した事業と言える。一般にもわかりやすいエンドポリオ事業を公共イメージの向上に役立てる

9月1日から10月24日の世界ポリオデーの間に各クラブでエンドポリオの事業、キャンペーンを企画実施する。

最後に

ここから、次年度が本格的に始まってまいります。次週には第2回理事役員委員長会議も予定されています。今回の地区協議会の内容を踏まえて各委員会事業計画を作成していただくことをお願い致します。

公共イメージ向上部会

山口和拡

広報IT委員会が名称変更となりました。地区の3番目の重点目標になっています。RCの公共イメージの向上とその活動に対する人々の認識を高め、戦略計画の目標を支えることが一番の目的です。認知度向上委員会とも言えるでしょう。私たちは、ロータリーが持つ5つの共通の価値観・奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップに基づく多くの活動を進めています。

青少年交換を通じた平和活動や地域経済活性フォーラム、水や健康や識字率向上と多種多様に渡っています。

松村ガバナー年度では、今年は財団設立100周年であり、世界のRCが一致協力して35年前から進めてきている、ポリオ（日本では小児麻痺という症状で知られている）撲滅に、集中して活動する事になりました。あと少しでエンドポリオの達成です。役員任せ、委員長任せにせず、自分の活動として、意見を述べ、出来る範囲で参加される事を望みます。



職業奉仕部会

古藤田博澄

職業奉仕委員会分科会に出席しました。先日の職業奉仕セミナーに引き続き、ロータリーの友29年1月号の本田さんの記事「職業奉仕はロータリーの根幹か？」についての話しがあり、各ロータリクラブでこの機会に「職業奉仕」をテーマに大いに議論をしてみよう！ということでした。



国際奉仕部会

中山博司

国際奉仕委員会は今まで属していた青少年交換小委員会が青少年奉仕委員会に移動し、国際奉仕だけの委員会になりました。先ず各クラブが過去に行なった国際奉仕、現在行なっている国際奉仕のアンケートを書かされました。これを集計・編集し、纏めるそうです。それを各クラブに配布するとのことでした。次に何クラブかが現在行なっている国際奉仕の報告がありました。

ネパールやスリランカなど遠くの国まで行って国際奉仕をしているクラブもあり感心しました。

質疑応答の中でグローバル補助金への不満が続出しました。どんなに申請してもほとんど降りないとのことでした。財団側は「とにかく、申請してみてください。」と言われ申請したが1年待ったが結局通らず1年を無駄にしているとのことでした。このことは委員長が財団に報告するとのことでした。最後にアドバイザーの積PGが、このことは各地区でも問題になっているので元に戻すことになるかも知れないとのことでした。



ロータリー財団部会

石井政一

ロータリー財団として『END・POLIO』への支援、あともう一步となった世界ポリオデープロジェクトの実施。

①2017年10月24日(火)の世界ポリオデーに合わせて、静岡・山梨両県でRCのPR新聞全面広告を掲載。

②それに先立ち、9月1日～10月23日の期間に2620地区内79クラブでエンドポリオPRと募金活動を展開する。

③各クラブの募金活動は、新聞社の取材を受け掲載する。またSNSも活用する。

ロータリー財団の補助金活用と寄付の推進

①地区補助金・グローバル補助金の活用

②財団への寄付 US\$ 150 / 人・年

③ポリオ基金への寄付 US\$ 30 / 人・年

④ベネファクター 各クラブ 1名以上US\$ 1000

⑤ロータリーカードの加入促進 7月まで

⑥大口寄付者のお願い 100万以上 1万ドル



新会員部会

土田 哲・原田精治

三島RC：渡邊脩助パストガバナーより医師の立場から昭和35年に大流行した際に自身が体験したポリオウィルス感染症とはどのような病気であるのかの説明、また、ポリオ撲滅とロータリーの関わりについてお話をいただきました。

清水中央RC：渡邊英昭委員長からは、委員長自身は父親がロータリアンであったために、幼少の頃よりロータリーが生活の一部になっており、様々な体験をさせていただいていることのお話をいただきました。最後に委員長からは、ロータリーとは「集い、知り合い、学び、役に立てる」これを皆で楽しくやっていくものであると教えていただきました。

この「集い、知り合い、学び、役に立てる」をこれからできる限り実践していきたいと思っておりますので、ご指導のほど、よろしく願いいたします。

簡単ではございますが、以上で、新会員部会のご報告とさせていただきます。





敢國神社 朝野から崇敬を集めた伊賀国一宮
デアゴスティーニ・日本の神社より転載

2016-'17

RI会長 ジョン・ジャーム ガバナー 生子 哲男
会長 山口和 拡 幹事 古藤田博澄
会報委員会 大川 公 浜村真由美 石井 政一



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2488回例会

2017.4.11(火)19:00 於 サンパレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境中央町ビル2F
TEL(055)976-6351 FAX(055)976-6352
例会場 ホテルサンパレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈185-1
TEL(055)947-3100 FAX(055)947-0564
URL www.izuchuo-rc.org

SAA：(司会) 雨宮演邦 SL：水谷隆一

斉唱「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 山口和 拡

黄色い帽子をかぶった初々しい新一年生をあちこちで見かける時期になりました。満開の桜と共に、春真っ盛り感がします。



新年度に入り、学校も行政も会社もフレッシュなメンバーに変わり、それぞれに、持てる力を目一杯発揮して頑張りたいと思います。6日金曜日には、伊豆総合高校の入学式に出席して208人の新入生に元気を頂いて来ました。4月8日のお釈迦様のお誕生日に、甘茶をかける花祭りもこの時期の風物詩です。私が関係する長温寺という曹洞宗のお寺でも、近所の子供たちが沢山参加して、お釈迦様の生誕をお祝いする行列をしました。お寺は、昔は心の拠り所として地域をまとめていました。子供たちにお寺を身近に感じてもらい、お葬式だけでないことを、伝えていきたいと思っています。

又、昨日の早朝には、全国春の交通安全運動街頭広報活動に、伊豆の国市役所前で参加してきました。新学期に合わせて実施されています。事故にあわない、起こさないを合言葉に、車、自転車、歩行者に交通安全を呼び掛けています。3月25日～28日の4日間で5件の死亡事故が県下で起きました。伊豆市へ砂を運んでいたダンプが富士宮で川に転落する痛ましい事故も起きました。その他は高齢者に追突や、出会い頭歩行中衝突などです。ドライバーは、心にゆとりをもって、周りの歩行者・車輛の動きに注意し運転しましょう。お世話になった大仁警察露木署長は退任され、元静岡中央警察署平井副署長が新署長に就任されました。お話しの上手な方とお見受けしました。機会があれば卓話をお願いしてもいいと思います。

RCも、地区協が終わり次年度の準備が粛々と進んでいます。会費を収めている分、大いに活動に参加して、ロータリーから多くの事を学び、得て頂きたいです。

ポール・ハリス・フェロー

土屋雄三君にポール・ハリス・フェローの認証状とバッジが授与されました。



出席報告

副委員長 小野 信

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	14/23名	60.87%	20/23名	86.96%
今回	20/25名	80.00%	会員総数	26名

今回の欠席者：梅原、土田、浜村、原田、儘田

前々回のMU者：土屋(龍)：3/18(PETS)

大川、紀平：3/30(三島西RC)

土屋(雄)：4/2(地区協)

竹村：4/5(三島RC)

儘田：4/7(せせらぎ三島RC)

慶事発表

- ・紀平幸一 4月7日 会員誕生日
- ・中山博司 4月13日 会員誕生日
- ・土屋雄三 4月6日 結婚記念日
《誕生日の一言》



紀平：お祝いありがとうございます。本年は77歳になります。いつの間にかもう喜寿迄生きてしまいました。当クラブで飯田晃司さんについで年寄りです。まだまだ県医師会の方では現役で頑張っています。そのためにRCの方が多少おろそかになりいつも申し訳なく反省しております。実は県医師会の方をやめると、渡邊、牧田両パストガバナーが候補者として手ぐすね引いて待っていますので、辞めるにやめられないまじい立場にあります。多少ゴルフの飛距離が落ちましたが、元気は元気です。もう少し頑張りたいと思

ます。よろしくお願ひいたします。

中山博司：明後日の13日で69歳になります。我がクラブにも団塊の世代生まれの方が7名ほどいます。私はあと1年ありますがみんな70歳に否応なく突入していきます。

去年京都乙訓クラブを訪問した時に、乾杯の音頭をと言われました。そういうものは長老の方がするもので、私には縁のないものと思っていましたのでショックでした。あと何年元気でいられるか分かりませんが、頑張っていければと思っています。今日はありがとうございました。

幹事報告

幹事 古藤田博澄

《例会場及び例会時間の変更》なし
クラブの卓話予定

4/25 (火) 外部卓話 (FMイズ)

5/2 (火) 会員卓話 (浜村会員)

委員会報告

IM実行委員会

総務委員長 中山博司

先週、飯田実行委員長が皆さんにお話ししました実行委員会組織の委員会構成、仕事の分担及びメンバーを理事・役員会で承認していただきました。皆さんにお配りしましたのがその内容です。10ヶ月後にはIMが開かれます。皆さんで協力し、成功させたいと思いますので宜しくお願いいたします。

米山委員会

先週、竹村委員長が米山春季例祭への参加をお願いしました。我々が参加することが木内、水谷両氏が記念館で頑張っていることに対するバックアップになると思います。ここでもう一度参加のお願いをいたします。

スマイル報告

委員長 小島昭男

慶事スマイル (本日のスマイル合計9,000円)

卓話

米山よもやま 木内昭夫

ロータリー会員であれば、日本で最初のロータリー、東京RC創設者・初代会長として日本のロータリーの礎を築いた人として、米山梅吉の名を知らない人はないであろうが、梅吉翁がその生涯を通じてどのような生き方をされたのか、なかなか知る人は少ない。

米山の持つ3つの顔

①文藻の人 ②実業の人 ③奉仕の人

①②は比較的人々の知るところでありますので、

③について触れてみます。

財団法人三井報恩会

三井銀行、三井信託銀行の業務を後継にゆだね、1934 (S9) 年、三井報恩会初代理事長に就任。米山46歳の時「新隠居論」を書き、報恩の趣旨を明確に打ち出した。この社会奉仕論を本格的実践にはいる発足の年。

その2年前、1932年満州事変勃発 軍部、右翼が勢力を強め政財界の要人が次々暗殺される時代。米山はそのような空しさの中から、余生を奉仕におくる選択をされた。

この三井報恩会は、財閥の三井一族が当時のお金で3000万円を出資し、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立された。

(今では評価するべくもないが、500~600億円以上ともいわれる)

すでに20年前、「新隠居論」。これは、一旦名を成した男子は、すべからく後進に道を譲り、以後は社会の奉仕事業に貢献すべし、と言う、米山の信条の実践である。



《医療関係》

ハンセン病、癌、結核への助成が光っている。ハンセン病では、1941年 (昭和15) ~ '43年にかけて、青森から沖縄まで、当時の療養所すべてを訪れている。自ら調達した見舞い品を持っていったと言う。当時は、もっとも恐れられ、嫌われた伝染病であった。

この米山の信念と勇気ある行動は、今も語り継がれている。

癌も同様、ベルギーから100万円でラジウムを買い付け、関係団体に寄付している。

《福祉関係》《農村振興事業》《学术研究、実験助成》

教育への奉仕

米山の教育関係への奉仕は、1、青山学院、2、郷里長泉村、3、立教大学に対してのものが著しい。

緑ヶ丘小学校一初等教育の充実は、米山の強い教育論に裏打ちされている。

1937 (昭和12) 年、初等部を設立 校舎建設にも全私財を投入して、米山が校長に就任。他からの寄付は仰がなかった。教育方針：今のPTAなど一切必要なしと言う強い教育論。後に、青山学院に寄付し、青山学院初等部となる。

さらに、これにも飽き足らず、幼児教育に情熱を燃やし、小学校付属の緑ヶ丘幼稚園を開園。建設費は、これまた米山が一切を支出した。

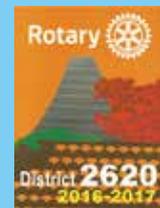
郷里 長泉村

米山の郷里への想いは、消えることがなかった。小学校に図書館を寄贈。

蔵書1000冊も全て米山の寄付。村はこれを『米山文庫』と名づけ、活用した。



宮地嶽神社 拝殿 息長足比売命の足跡を偲ぶ
デアオスティーニ・日本の神社より転載



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO 週報 第2489回例会

2017.4.18(火)19:00 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境中央町ビル2F
TEL(055)976-6351 FAX(055)976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈185-1
TEL(055)947-3100 FAX(055)947-0564
URL www.izuchuo-rc.org

2016-17

RI会長 ジョン・ジャーム ガバナー 生子 哲男
会長 山口和 拡 幹事 古藤田博澄
会報委員会 大川 公 浜村真由美 石井 政一

SAA：(司会) 雨宮演邦 SL：儘田和義

斉唱「我らの生業」

会長挨拶

会長 山口和 拡

「山吹の花咲く丘に春霞」という俳句を見つけました。あちこちで黄色い山吹がきれいに咲いています。

ロータリーでは4月のテーマを母子健康月間としております。今日は、伊豆の国市役所の大澤・秋津両保健師に来て頂いております。お二人は、入庁以来子育てや市民の健康専門に約20年携わって来られました。現場からの貴重なお話が伺えるのではないのでしょうか。ここに、21,000戸に各戸配布された伊豆の国市民カレンダーを持って来ました。毎年最終ページに健康づくり課の主な事業一覧が掲載されています。赤ちゃんの検診、成人病予防、感染症対策、等々それこそ地域の健康を縁の下の力持ちとなって支えていただいております。病気になれば、本人も家族も大変です。市民一人ひとりが健康で暮らしてもらう事が、住みよい街づくりの一丁目一番地だと思います。財政的にも医療費削減にも繋がります。

我がRCは、若者が伊豆で働き、伊豆で暮らしたくなる社会を目指して活動しています。特に、女性が生き生きと人生を送る事が可能な社会は、次の世代に直結する最重要課題です。

ロータリーの友4月号では、東京銀座新RCの対馬ルリ子産婦人科ドクターの地区大会の講演が掲載されています。日本は、本当に女性が働きやすい社会なのか、子供を産みやすい社会なのか。この事で日本は先進国と思われがちですが、あにはからんやジェンダーギャップ指数で見ると144か国中111位だそうです(WEF統計)。エコノミスト誌には、日本企業は、慎重に紙をリサイクルするが、女性の能力を無駄にしていることには無頓着だと掲載されました。ゴールドマンサックスは、もし日本の女性が男性と同じに活躍したらGDPは13%アップすると試算しています。その為には兎にも角にも、女性疾患を少なくしなければなりません。



女性の年間医療費、生産性の損失は、日本医療政策機構のデータによれば6.37兆円(医療1.42/生産性4.95)に上ると言われています。更には、お金の問題より何より、女性一人ひとりの生活の質、人生の向上の方が大切であるとの主旨でした。

平和で経済大国の日本と言われますが、現実には生活に困っている家庭は沢山あります。昔の事を言うと怒られますが、昭和の時代は、お金は無くても幸せでした。新しい技術は素晴らしい毎日を与えてくれますが、便利すぎるのめいかなのでしょうか。地に足を付け、充実した人生を送りたいものです。

ゲストビジター

- ・秋津 礼子 さん(伊豆の国市 健康づくり課 保健師)
- ・大澤 知子 さん(伊豆の国市 健康づくり課 保健師)

慶事発表

- ・土田 哲 4月12日 会員誕生日
 - ・紀平幸一 4月18日 結婚記念日
- 《誕生日の一言》



土田：今日はありがとうございます。48歳になりました。会社を始めて18年目となります。RCに入ったばかりですので御指導の程よろしく願いいたします。

出席報告

副委員長 小野 信

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	18/24名	75.00%	22/24名	91.67%
今回	21/23名	91.30%	会員総数	26名

今回の欠席者：梅原、小林

前々回のMU者：木内：3/25(米山記念館)

玉置、土屋(雄)：4/1(新会員歓迎会)

紀平：4/13(三島西RC)

RI会長テーマ「ROTARY SERVING HUMANITY・人類に奉仕するロータリー」

クラブの卓話予定

5/2 (火) 会員卓話 (浜村会員)

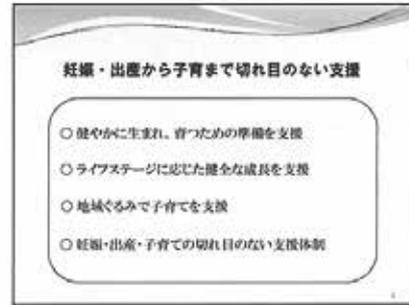
5/9 (火) 外部卓話 (西島基弘さん)

慶事スマイル (本日のスマイル合計6,000円)

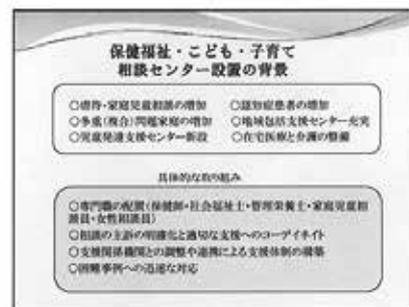
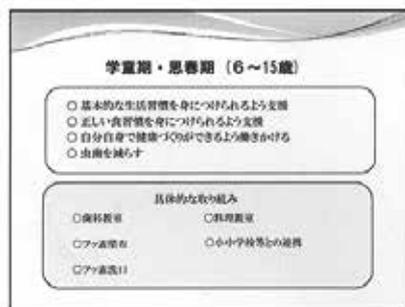
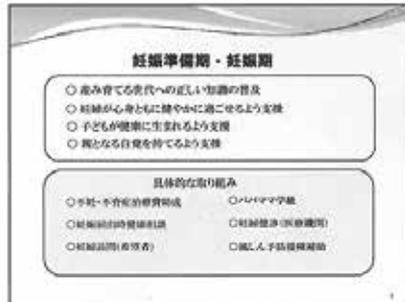
卓話



地域で安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり
秋津 礼子 さん



保健福祉・こども・子育て相談センター設置の背景
大澤 知子 さん



講師プロフィール

大澤保健師：平成7年4月 旧韮山町役場に保健師として入庁。平成17年4月 合併により、伊豆の国市となり、現在、福祉事務所の保健福祉・こども・子育て相談センターに勤務。

秋津保健師：平成10年4月 旧大仁町役場に保健師として入庁。平成17年4月 合併により、伊豆の国市となり、現在、市民福祉部健康づくり課に勤務。





一之宮貫前神社
デアゴスティーニ・日本の神社より転載

2016-17

RI会長 ジョン・ジャーム ガバナー 生子 哲男
会長 山口和 拡 幹事 古藤田博澄
会報委員会 大川 公 浜村真由美 石井 政一



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2490回例会

2017.4.25(火)19:00 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境中央町ビル2F
TEL(055)976-6351 FAX(055)976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈185-1
TEL(055)947-3100 FAX(055)947-0564
URL www.izuchuo-rc.org

SAA：(司会) 雨宮演邦 SL：儘田和義

斉唱「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 山口和 拡

先週は、伊豆の国市健康づくり課のお二人に、子育てを巡る最近の各種問題点について卓話をしていただきました。子供が真っ直ぐ成長するには、家庭は勿論、周りの大人たちの愛に満ちた見守りがいかに必要か、考えさせられました。このように行政機関との連携した活動は私の小さな夢でした。これからも、色々な意味でロータリーは関係を保つ事はいい事だと思います。いつも思うのですが、ロータリーの存在はそれなりに一目置かれているという事です。



今年、外部からの卓話に重点を置いた訳ですが、皆様協力的でロータリー例会訪問を楽しみにしてくれました。卓話者を依頼するについても、メンバーの地域での実力、顔の広さを感じました。例会時間も、都合が良いのかもしれませんが。

先週20日木曜日午後4時から伊豆総合高校の新年度第一回インターアクトクラブ例会に出席してきました。参加された皆様ありがとうございました。メンバーが変わりましたので、これまでの活動を振り返りながら、IACの理解を深めていただきました。

22日土曜日には、米山記念館で春の例祭が執り行われました。阿部様のスピーチは、日本の伝統は「与える文化」にあると言う示唆にとんだ感動的なお話でした。91才と知り益々驚きました。

23日日曜日には、修善寺大掃除がありました。財団補助で作ったビブスを着て60名からの大掃除となりました。長野県から伊那RC、ローターアクトの皆さんもお見えになり、古藤田幹事のお計らいで伊豆総合高校の生徒会との意見交換も行なわれました。それぞれ、静新東部伊豆版、日日の一面に掲載されました。

阿部様の講話にもありましたが、己の欲せざる所人に施すことなかれ、逆に言えば、己のして欲しい事を、人にしてあげられれば自分も幸せになれると言う事です。ロータリー精神の、最も多く報われるにつな

がる事を勉強し続けたいと思います。

ゲストビジター

- ・飯田 宣夫 さん (FM伊豆 社長)
- ・仙座 夏子 さん (FM伊豆 ディレクター)

出席報告

委員長 儘田和義

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	20/25名	80.00%	23/25名	92.00%
今回	18/25名	72.00%	会員総数	26名

今回の欠席者：石井、梅原、木内、小島、土屋(雄)、土屋(龍)、浜村、

前々回のMU者：土田(哲)：4/2(地区協)

儘 田：4/7(せせらぎ三島RC)

原 田：4/20(インターアクト)

幹事報告

幹事 古藤田 博澄

《例会場及び例会時間の変更》なし
クラブ卓話予定

5月9日(火) 外部卓話 (西島基弘 様)

5月16日(火) 外部卓話 (浅田藤二 様)

IAC定例会



4月20日(木) 新年度第1回目のIAC定例会。伊豆中央RCからも10名の会員が参加。IAC会員・先生とRC相互に意見発表が行われました。

本年度はIACの活動がより充実する事を期待します。

RI会長テーマ「ROTARY SERVING HUMANITY・人類に奉仕するロータリー」

㈱FMIS『コミュニティFMとしての役割』

FMISは、コミュニティFMの役割である、災害時に市民にとって役立つ情報を受発信し、市民の生活を守る放送局として、その体制づくり強化に努めています。

<災害時への対応>

- ・伊豆市と防災協定を結んでいます。
- ・地元警察と連携をしています。
- ・現在、放送受信が不良な地域・地区の改善に向け準備をしています。
- ・災害時には率先して緊急災害放送を行います。
- ・災害時に緊急災害放送にすばやく移行できるための体制づくりに努めています。

<平常時>

- ・『防災パートナー』を募り、市民向け災害対策の啓蒙CMを放送しています。
- ・伊豆市に特化した情報提供をしています。

* 交通情報ほか

<その他の活動>

- ・伊豆市発行の『広報 伊豆』の製作に携わっています。
- ・地域地区イベントへの司会その他運営支援などを行っています。
- ・放送とリンクさせたフリーペーパー『HT(はな通信)』を年4回発行しています。
- ・県外のコミュニティFMとの連携強化に努めています。



飯田宣夫 社長
(FM伊豆)



仙座夏子 ディレクター
(FM伊豆)



「市民に信頼され 市民の生活を豊かにするための情報発信基地」を目指します。

<FMIS会社概要>

会社設立月日…平成25年 1月18日

予備免許取得日…平成25年 5月29日

開局月日…平成25年 6月28日

アンテナ送信所…修善寺・中伊豆・天城湯ヶ島・土肥

放送地域…伊豆市(80%)をカバー

平日…午前7時から21時まで

土日…午前8時から20時まで

■ 米山梅吉記念館 春季例祭 ■

・講演「愛されて生き、生きて愛する」

平成29年4月22日 14:00 ~ 17:20

講師 神奈川県立保健福祉大学名誉学長
阿部志郎氏

アトラクション ジャズピアノ演奏
ジャズピアニスト 岸ヨシアキ氏

